

関係各位

高知県病害虫防除所長

令和5年度病害虫発生予察技術情報(第9号)

施設果菜類(キュウリ、ナス、ピーマン・シシトウ、トマト)の病害対策について  
(べと病、つる枯病、灰色かび病、黒枯病、すすかび病、斑点病、葉かび病)

1 月中下旬に実施した施設果菜類の巡回調査の結果、好湿性病害が増加している傾向が見られました。

キュウリでは、県中央部、西部でべと病の発生面積、発病葉率がともに平年を大きく上回り、つる枯病は中央部、中西部、西部で発生が確認されています。ナスでは、東部、中央部で灰色かび病の発生面積が平年よりも多く、西部で黒枯病及びすすかび病の発生が全調査ほ場で見られます。ピーマン・シシトウでは、中央部で黒枯病の発生面積が平年の4.8倍と多く、中西部は斑点病の発病度が高いほ場が確認されています。トマトでは、平年と比べ灰色かび病の発生面積が多く、葉かび病、すすかび病は、発病度が高くなっています(表1)。

四国地方の1か月気象予報(2月1日高松地方気象台発表)では、気温は平年と比べ高く、降水量は多くなると予想されていることから、暖房機の稼働時間が短くなりハウス内湿度が上昇し、上記の好湿性病害が多発する恐れがあります。

これらの病害の被害を未然に防ぐために、あらかじめ防除を実施するとともに、換気や暖房機を稼働させるなどにより、ハウス内の湿度低減に努めて下さい。

記

「防除対策」

- 1) ハウス内の湿度低下をはかるため、日常の水管理に注意し、日中の換気や、夜間・早朝加温を実施してください。マルチ栽培や通路への靱がら施用等も検討してください。
- 2) 発病後に生じた病斑上の分生子で次々に伝染する場合がありますので、罹病果実や茎葉は早期に処分して伝染防止に努めて下さい。
- 3) 灰色かび病の病原菌は、花卉から侵入し、花落ちが悪いとそこから果実に侵入します。また、枯死株、枯死葉等を放置すると病原菌の増殖場所になりますので、果実に付着した花卉やハウス内の枯死茎葉はできるだけ取り除いてください。
- 4) 耐性菌の発生を防ぐため、同系統の薬剤を連用しないようにしてください。薬剤の選定にあたっては、高知県農薬情報システム (<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/kochi>) も参考にしてください。

表1 県内各地域の好湿性病害の発生状況(1月)

作物名	病害名	地域	東部	中央部	中西部	西部	合計	
		栽培面積	—	65	27	17	109	
キュウリ	べと病	発生面積(発病葉率)	本年	65.0 (26.6)	10.6 (9.8)	11.4 (16.9)	87.0 (20.9)	
		平年	—	41.0 (13.7)	9.1 (9.8)	5.9 (4.2)	56.0 (11.3)	
	つる枯病	発生面積(発病株率)	本年	—	0.4 (0.1)	1.5 (0.7)	1.9 (0.1)	3.8 (0.2)
		平年	—	7.2 (0.3)	1.6 (0.7)	1.6 (0.5)	10.4 (0.4)	
		栽培面積	255	11	—	5	271	
ナス	灰色かび病	発生面積(発病果率)	本年	20.5 (0.1)	1.4 (0.1)	—	0 (0.0)	21.9 (0.1)
		平年	11.1 (0.1)	0.9 (0.2)	—	0.1 (0.1)	12.1 (0.1)	
	黒枯病	発生面積(発病度)	本年	85.1 (5.3)	4.1 (0.4)	—	5.0 (22.5)	94.2 (5.4)
		平年	171.5 (7.0)	6.5 (4.5)	—	3.7 (10.8)	181.7 (7.0)	
	すすかび病	発生面積(発病度)	本年	42.5 (1.3)	6.9 (1.4)	—	5.0 (8.5)	54.4 (1.4)
		平年	102.5 (1.7)	6.5 (4.7)	—	3.6 (13.8)	112.6 (2.0)	
		栽培面積	25	54	7	—	86	
ピーマン・シシトウ	斑点病	発生面積(発病度)	本年	6.3 (0.1)	29.5 (1.6)	2.4 (17.1)	—	38.2 (2.4)
		平年	5.4 (1.5)	34.6 (2.4)	4.0 (3.7)	—	44.0 (2.2)	
	黒枯病	発生面積(発病度)	本年	0.3 (0.1)	19.6 (0.3)	1.2 (0.4)	—	21.1 (0.3)
		平年	0.8 (0.3)	4.1 (0.2)	2.4 (1.5)	—	7.3 (0.3)	
		栽培面積	—	31	—	—	31	
トマト	灰色かび病	発生面積(発病果率)	本年	—	3.4 (0.1)	—	—	3.4 (0.1)
		平年	—	1.1 (0.1)	—	—	1.1 (0.1)	
	葉かび病	発生面積(発病度)	本年	—	10.3 (5.8)	—	—	10.3 (5.8)
		平年	—	7.5 (3.8)	—	—	7.5 (3.8)	
	すすかび病	発生面積(発病度)	本年	—	10.3 (5.6)	—	—	10.3 (5.6)
		平年	—	8.9 (1.2)	—	—	8.9 (1.2)	

面積の単位は ha、—は調査対象外を示す

注) 野菜類調査における各地域の区分

東部：安芸市、室戸市および安芸郡の町村

中央部：高知市、南国市、香美市、香南市、長岡郡・土佐郡の町村、吾川郡いの町  
および高岡郡日高村

中西部：土佐市、須崎市、高岡郡(日高村を除く)町村および吾川郡仁淀川町

西部：四万十市、宿毛市、土佐清水市および幡多郡の町村

お問合せは、病害虫防除所(TEL：088-863-1132)または環境農業推進課(TEL：088-821-4861)まで